

事業所名 児童デイサービス・アニマートあまがさき

支援プログラム（参考様式）

作成日 令和8年 2月 9日

法人（事業所）理念		「元気に！いきいきと！」をテーマに、「遊び」を通して、精神的、身体的機能を最大限に伸ばし、将来社会的自立が出来るようになることを目標とした一人ひとりの発達段階に合った内容を考え、身辺の自立、運動、認知、言葉、社会性など、自立を目指した生活習慣の獲得を目指します。										
支援方針		「元気に！いきいきと！」を合言葉に、子どもたちが「遊び」を通じて色々なことに興味を持ち、「やってみたい！」の気持ちになり様々なことを経験することで「できた！」を感じながら成功体験を積み重ねる。そしてその経験が自信につながるよう一人ひとりに合った支援を心がけております。また、多機能ならではの異年齢の交流も大切にしております。そして子どもたちが、好きなこと、楽しいことを見つけ、穏やかに過ごせる、ほっと出来る場所として事業所を利用していただけることが大切と考えております。										
営業時間		平日 休校日	11 9	時 00	00 00	分から	19 17	時 00	00 00	分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	来所してからの流れ（靴をしまう、カバンから連絡帳を提出する、カバンをロッカーにしまう、手を洗う（トイレに行く）など）の流れが身に着くような支援を行っています。また健康管理の観点から検温の実施、保護者からの連絡帳確認を職員全員で共有しています。										
	運動・感覚	感覚統合を促すような遊びを積極的に取り入れています。触覚はスライムや粘土、室内で出来る砂遊びなど、固有覚や前庭覚はジャンプや障害物（サーキット）、シーツブランコなど。目と手の協応を促すボール・風船を使った遊びも多く取り入れています。										
	認知・行動	天気の良い日は公園に出かけ、室内では難しい運動遊びを楽しんでもらっています。予め時間設定をし、見通しのつきやすい状況を作って、切り替えが上手に出来るよう工夫しています。身体感覚を養うことで、上下、左右、前後などの感覚を身に付け、日常生活動作の向上に繋げていきます。										
	言語 コミュニケーション	挨拶がしっかりと身に着くよう、スタッフ主体ではなく子どもたちが自ら学べるようお互いに声かけをしてもらっています。事業所内だけでなく、送迎車の中でも子どもからの発信が増えるよう、その日の出来事を話し合ったり、言語ゲーム（しりとりなど）を行っています。										
	人間関係 社会性	他の子どもたちが選んでいる時は待つ、みんなが遊び終わってから「頂きます」をすることで、「待つ」「相手に合わせる」を学んでもらいます。自由遊びではおもちゃの貸し借りや仲間に入れてもらう、仲間に入れてあげるなどの経験で社会性を学んでもらっています。										
家族支援		事業所での様子を丁寧にお伝えしたり、ご家庭での様子を伺いながら、悩み事などの相談にも応じ、お子さまとご家族様とのサポートをしてまいります。						移行支援		送迎時に学校や園での様子をうかがうと共に、こちらの様子もお伝えし、情報を共有しています。また支援の方向性を統一し、ステップアップに繋がるよう連携を図ります。		
地域支援・地域連携		必要に応じて関係機関との連携を図り、情報を共有していきます。「買い物体験」や「外食体験」「公共施設の利用」を通して地域の方々との交流を図ります。						職員の質の向上		外部研修への参加や内部研修を行っています。研修後、報告会を行い情報共有することで、よりよい支援に繋がっています。		
主な行事等		季節や行事を感じられるプログラムを用意しております。進級・入学・卒業、七夕、夏祭り、ハロウィン、クリスマス、お正月、節分、ひな祭り等）祝日や長期休み期間中は地域交流を図れるようなお出かけイベントを企画しております。										